

和織床の特性

和織床には巻込み仕上とタイルの2種類があり、織物ビニル生地の耐久性や耐光性を活かした商品です。下地作りや造作工事は要らず、ビニル床タイルやタイルカーペットと同じように貼るだけで和空間を演出できます。

製品に関してのご注意

- ・本製品は一般内装用の床材です。屋外には使用できません。
- ・土足用途や水回り、往來の激しい場所、高温多湿になる場所には使用できません。
- ・製品の特性上、製品サイズに若干の誤差があります(サイズ±1mm、厚み±0.5mm程度)。
- ・製品サイズの誤差、現場の寸法誤差などにより隙間が生じたり、端が入らない場合がありますので現場での施工調整をお願いします。
- ・製品をカットする場合は、両端に短いものが来ないようにしてください。
- ・壁際用カバー材の使用や他商品(リファインバックエグザ等)で和織床の周りを施工し、調整することをおすすめします。
- ・柄はつながりません。
- ・商品によっては素材特有の臭いのするものがあります。換気を心がけてください。
- ・使用環境にて、多少の伸縮・反りが発生する可能性があります。施工場所に適した接着方法で施工してください。
- ・廃棄する際は、法律および各地方自治体の基準に従い処理してください。
- ・長時間直射日光があたる場所では、変退色が早くなる可能性がありますので、カーテン・ブラインドなどで日よけをしてください。
- ・火の付いたタバコを落とした場合はすぐに取り除いてください。こげ跡がつくと取れません。

施工上のご注意

- ・本製品は木質系・石質系等の固く平滑な床面下地に施工してください。
- ・凹凸のある床やカーペット、畳には使用できません。
- ・製品を保管する際は、直射日光のあたらない乾燥した室内の平坦な場所に平置きしてください。
- ・施工の際は指定接着剤、CP-7Lまたは床用の両面テープで下地と固定してください。
- ・施工する際は下地に汚れ等があると十分な接着強度が得られないため、汚れを取り除くよう清掃してください。
- ・下地が十分に乾燥していることを確認してから施工してください。
- ・床暖房や熱の当たる場所へは施工しないでください。
- ・製品サイズや現場の誤差などがあるため、仮置きし部屋の中心から四方へ順に敷いてください。
- ・施工後に製品を撤去する際、本製品裏面のシートが剥がれる場合があります。
- ・推奨施工はピールアップ工法をおすすめしますが、現場の状況に合わせ適切な接着剤をご使用ください。
- ・製品の特性上、白い芯糸が出る場合がありますが、引き抜かずにはさみ等でカットしてください。

使用上のご注意

- ・本製品はクッション性を持たせているため歩行程度で表面に凹みが生じることがありますが、時間の経過により元に戻ります。
- ・ピアノ、ベッド、テレビ台などの重量物は凹み跡が戻りません。重量によっては基材を破壊するような場合があります。
- ・やむを得ず家具などを置く場合は、脚部にインシュレーターや小さい板などを置き荷重を分散させてください。
- ・テーブル・椅子の家具の脚などの局所荷重により、引きずると表面を損傷する恐れがあります。
- ・ゴム系の車輪やキャップは、種類によって色移りすることがあります。色移りすると取れません。

■指定接着剤

CP-7L(下地:モルタル・コンクリート・合板・木質系床材・金属下地・クッションフロア・ビニル床タイル)▶P.282参照
床用両面テープ(下地:合板・木質系床材・金属下地・クッションフロア・ビニル床タイル)

※当社の指定接着剤は、JIS規格による接着基準を満たしていますので、必ずご使用ください。

※接着剤は、直射日光のあたらない場所(5℃~35℃)で保管してください。

※施工する床材に最も適した接着剤をご使用ください。現場にて納まりが悪い場合は、接着剤の変更も必要となります。

※誤った方法で使用すると、接着不良による突き上げや目隙が発生する場合があります。

※貼付けのタイミング(オープンタイム)は、接着剤の種類や下地により異なります。

※各接着剤に記載している使用方法および使用上のご注意をご確認ください。

■基本的な施工手順

①施工前の準備:敷き込み部分の長さを測定し、製品サイズに合わせて片寄りなく歩留まりの良い割り付けを行って下さい。

施工当日は、必要な工具を揃え、商品や接着剤の必要数量等が間違いないかを確認してください。

②下地の確認:下地に段差や反り、割れ、ささくれ、欠けなどによる不陸がある場合は、平滑にしてください。

③墨出し:各辺の長さを測定し、基準線を決め、墨出しを行います。

④仮置き:和織床を一度全て仮置きし、貼り方向と貼り合わせをご確認ください。基準線より4辺の角を合わせながら、ずれないように市松貼り施工で敷いてください。

⑤接着剤塗布 ※現場の状況、下地の種類によって最適な接着剤をご使用ください。※ピールアップボンドや床用両面テープの取扱いは容器等に記載されている取扱説明書をご確認ください。

【ピールアップボンド CP-7Lの場合】

・目安塗布量:約80~120g/m² オープンタイム、貼り付け可能時間を守り、貼り付けてください。

・墨出した施工エリアの半分ごとに塗布します。付属のクシ目ゴテを使用し、接着剤がクシ目状になるようクシ目を立てて塗布してください。

・必ず接着剤が透明になってから施工を開始し貼付け可能時間を守ってください。

【床用両面テープの場合】

・製品裏面の左・中・右の川の字3か所に貼ることをおすすめします。

・下地が十分に乾燥していることを確認してから施工してください。

⑥貼り付け:墨出し線を基準に壁方向に向かって貼り始めます。適度にて手で押さえつけて圧着させます。

■端の4つの処理方法

1.端を残して再度巻き込む方法:裏からカットし、カット面を再度巻き込み直すことで、元の商品と同じようにキレイに納めることができます。

詳しくは「基本的なカット及び端の巻き込み方法」を参考に施工願います。

2.カット面をボンドで目止めする方法:和織床の切った端のカット面を木工用ボンド等で目止めすることで、ほつれを防止することができます。

木工用ボンド等を使用する場合は、乾いてから施工してください。

3.壁際用カバー材を使用する方:カット面にカバー材をはめ込んでください。(取付の際は短い辺が上になるようにしてください。)

4.和織床をカットせずに調整する方法:周囲に納めたビニル床タイルやタイルカーペット等をカットして調整することで、和織床をカットする必要がなくなります。

※製品をカットする場合は、カッターで10回程度切込みを入れてカットしてください。

※カッターをご使用の際は十分にご注意ください。

■基本的なカット及び端の巻込み方法



①製品を敷く

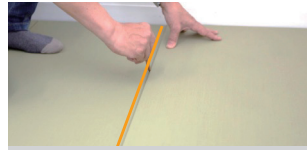
残り幅が1枚分より短くなるまで、市松貼りで敷き詰めます。



②カットの準備

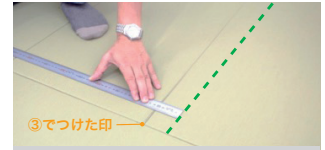
ガイドとなる製品を上からかぶせて、カット位置を決めます。

POINT: 市松の方向性を確認してカットします。



③仕上がり線を入れる

生地が重なった部分に鉛筆等で印をつけます。



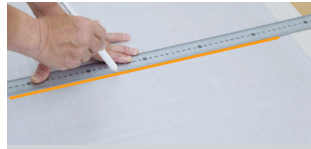
④巻込む生地のカットラインを入れる

先ほど印を付けた箇所から、表生地の巻込み部分を作るために、5cm外側にも印を付けます。



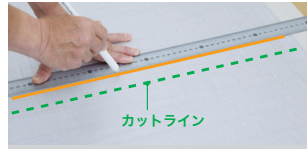
⑤裏面に仕上がり線を入れる

③でつけた印を元に表面の位置を側面にも印を入れます。



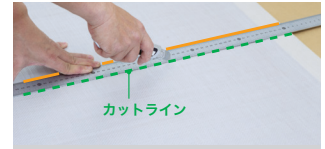
⑥裏面に仕上がり線を入れる

側面まで伸ばした印を元に、裏面にも線を入れます。



⑦巻込む生地のカットラインを入れる

仕上がり線より5cm外側に巻込む生地のカットラインを入れます。



⑧巻込む生地のカットラインに沿ってカット

下地を傷つけないように、段ボールやカッターマット等の下敷きを敷いて、巻込む生地のカットラインに沿って、10回程カッターで切り込みを入れてカットします。



⑨裏面シートのカット

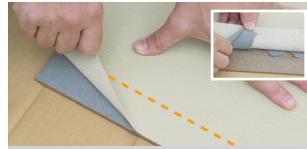
次に、裏面にカッターで10回程切り込みを入れてカットします。

POINT: 巻込む生地の厚み1mm程度を考慮し、印の内側をカットする。



⑩裏面シートを剥がす

切り込みを入れたら、裏面シートをゆっくり剥がします。



⑪巻込み部の表地を剥がす

巻込み部の表地を仕上がり線より少し大きめに剥がしてめくりまわす。

POINT: 生地に残ったものを全て剥がしてください。



⑫巻込み部の表地を切らない準備

中芯のカットの前に、養生テープ等で巻込み部の表地が中芯にかからないように仮止めすることをおすすめします。



⑬仕上りサイズにカット

その後、中芯にカッターで10回程切り込みを入れてカットします。

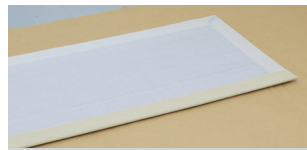
POINT: 表地を切らないように注意



⑭巻込み部の接着

巻込み部の表地を裏面に接着剤等で貼り付けます。しわが入らないように引っ張りながら巻込みます。

※接着剤等の選定・使用方法は、各取扱説明書を参考にしてください。



⑮巻込みの完成

接着剤が完全に乾くまで待ちます。



⑯製品を敷く

最後に壁側の端にはめ込みます。他の生地も同様に行います。

日常のメンテナンス

日常清掃は、掃除機で表面のゴミ・塵を吸い取った後、乾いた布巾で生地目に沿って拭き掃除を行ってください。

- ・掃除機は、生地目に沿ってかけてください。
- ・必要に応じて、硬く絞った濡れ布巾で表面を軽く拭き取ってください。

日常のメンテナンス

- ・表生地は凹凸があるため、織り目の中に汚れが入ると取れにくい場合がありますので、汚れたら直ぐに対処してください。
- ・水等をこぼした場合は直ぐに拭き取ってください。
- ・ワイン・ビール等のアルコール類をこぼした時は、すぐにかたくしぼった布巾で拭取った後、乾いた布巾で叩きながら拭取ってください。アルコールによって表面生地とクッション材の接着強度が低下する恐れがありますので、すぐに拭取ってください。
- ・スチームモップ、スチームクリーナー等の強い蒸気を用いる掃除機は使用しないでください。
- ・たばこを落として表面が焦げてしまった場合は、火を消した後かたくしぼった布巾で拭取ってください。本製品は防災認定商品ですが、焦げ跡は、補修ができません。
- ・清掃時は、必ず換気をおこなってください。汚れやホコリ、過度な湿気などの条件ではカビやダニが発生し、健康を害する恐れがあります。
- ・過度な湿気を含ませないために、お天気の良い日には窓を開け風通しを良くしてください。
- ・スポットクリーニングについては以下の方法をご参照ください。またブラッシングを行った後は、必ず水拭きをしてください。
- ・ゴムと直接接触させると変色の原因となりますので、避けてください。
- ・表面に繊維特有の凹凸があるため、汚れが残りやすくなる場合があります。

■スポットクリーニング

汚れの種類	方法
コーヒー、ジュース、チョコレート、クリームなど	温水を含ませた布巾で拭取ってください。汚れが残る場合、中性の万能クリーナー (pH7-8.5) で汚れを落としてから洗剤が残らないよう再度温水を含ませた布巾で拭取ってください。
チューインガム	ガム除去剤またはコールドスプレーを塗布しブラッシングしたあと布巾で拭取ってください。
錆	弱酸性の洗剤 (pH3-4) を塗布後5〜10分置いてください。その後、温水でブラッシングしたあと布巾で拭取ってください。
水性接着剤	温水でブラッシングしたあと布巾で拭取ってください。
溶剤系接着剤	しみ抜き材 (ベンジン等) でブラッシングしたあと布巾で拭取ってください。
靴の跡	乾いた布で拭取ってください。
血液	冷水でブラッシングしたあと布巾で拭取ってください。汚れが残る場合、アンモニアでブラッシングしたあと布巾で拭取ってください。